

EDI-Master DEX for Medical  
Ver.5.00-01  
リリースメモ

Windows Server、Internet Explorerおよび SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の、  
米国、日本および、その他の国における登録商標または商標です。

## 目次

[Ver.5.00-01 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.5.00-01 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	対応 OS に以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2016 Standard、Essentials</li> </ul>	仕様変更	全体
2	対応 OS から以下を削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Server 2008 Enterprise、Standard</li> <li>Windows Server 2008R2 Enterprise、Standard</li> </ul>	仕様変更	全体
3	対応データベースに以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> <li>SQL Server 2016</li> </ul>	仕様変更	全体
4	対応データベースから以下を削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>Oracle 11g</li> <li>SQL Server 2008</li> <li>SQL Server 2008 R2</li> </ul>	仕様変更	全体
5	対応ブラウザから以下を削除 <ul style="list-style-type: none"> <li>Internet Explorer 9.0、10.0</li> </ul>	仕様変更	全体
6	定義画面にて特定の証明書データが列挙されない不具合を修正	修正	Web
7	特定 EDI 製品と AS2 伝送において署名アルゴリズム SHA2 を使用した際、MDN 受信/送信エラーとなる不具合を修正	修正	通信部
8	資料採取画面「集約振分ログ」項目のログ名称が表示されない不具合を修正	修正	Web
9	SGM ファイル(文字コード：UTF-8)の業務転送履歴への取込不具合を修正	修正	通信部以外
10	AS1,AS2 伝送で MIC アルゴリズムに SHA2 を使用した際、伝送エラーとなる不具合を修正	修正	通信部
11	複数（中間／ルート）の証明書情報が含まれる証明書(PFX／P12 形式)のインポート不具合を修正	修正	通信部以外

No	概要	VerUp 区分	変更区分
12	特定 EDI 製品と AS1 伝送時において署名アルゴリズム SHA2 を使用した際、MDN 受信/送信エラーとなる不具合を修正	修正	通信部
13	複数データを同時受信すると、一部の受信データを消失する場合がある不具合を修正	修正	通信部
14	送信に失敗したデータが、転送履歴検索結果画面にて表示される不具合を修正	修正	Web
15	ICSR 症例転送履歴の詳細画面から添付ファイルをダウンロードできない不具合を修正	修正	Web
16	転送履歴の書き込みに失敗する場合がある不具合を修正	修正	Web
17	同一ドキュメントが二重抽出される場合がある不具合を修正	修正	API
18	業務転送履歴取込において取込エラーのデータが存在する場合、一時ファイルによりディスクを圧迫する不具合を修正	修正	通信部以外
19	受信フォルダに存在する複数件のステータス「処理済み（異常）」のファイルが一括で抽出できない不具合を修正	修正	API
20	AS2 プロトコルの非同期伝送において、MDN 送信を行うと一時ファイルが削除されない不具合を修正	修正	通信部
21	CSR 作成ツールにて、予期せぬエラーが発生する不具合を修正	修正	通信部以外
22	データ受信中に受信処理を途中で抜けてしまう場合がある不具合を修正	修正	通信部
23	IMAP のアカウント追加画面にて、「PLAIN 認証に認可 ID を使用する」のチェックを外した場合、登録エラーとなる不具合を修正	修正	Web
24	メールサーバに復号化できないメールが存在する場合、暗号化されていないメールも受信処理エラーとなる不具合を修正	修正	通信部

No	概要	VerUp 区分	変更区分
25	「CNG Key Isolation」サービスが実行されていないと、電子証明書の秘密鍵の取得に失敗する不具合を修正	修正	通信部
26	集約振分機能で複数の振分処理が同時に行われた場合、振分エラーとなる不具合を修正	修正	通信部以外
27	転送履歴検索結果をCSV出力した際に送信に失敗したデータが出力される不具合を修正。	修正	通信部以外
28	転送履歴情報のデータベース登録に失敗する場合がある不具合を修正	修正	通信部以外
29	ユーザーグループ設定で業務転送履歴のみ表示設定を行った場合、転送履歴メニューが表示されない不具合を修正	修正	Web
30	ICSR/ACK ファイル内にシングルコーテーションが含まれると業務転送履歴への取込エラーとなる不具合を修正	修正	通信部以外
31	ICSR 症例転送履歴の PDF 出力で、「ACK 転送日時」欄に不正な内容が出力される不具合を修正	修正	通信部以外
32	伝送結果が転送履歴に書き込まれない場合がある不具合を修正	修正	通信部以外
33	「キー使用法」が設定されていない証明書をサーバ認証で使用すると SSL ハンドシェイクエラーとなる不具合を修正	修正	通信部
34	回線集約機能でローカルディレクトリへの振分で振分エラーとなる不具合を修正	修正	通信部以外

No.6		定義画面にて特定の証明書データが列挙されない不具合を修正
条件	発生	インポートした電子証明書内に、「拡張キー使用法」項目の設定がない場合。
内容	障害	通信定義画面にて証明書選択リストに証明書が列挙されない。
回避策	未実施時のアップデート	特になし。

No.7		特定EDI製品とAS2伝送時において署名アルゴリズムSHA2を使用した際、MDN受信/送信エラーとなる不具合を修正
発生条件		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MDN 送信エラー：MDN の送信要求「Disposition-Notification-Options」に「SHA-256」が記載されている場合。</li> <li>・ MDN 受信エラー：MDN の「Received-Content-MIC」に「SHA-256」が記載されている場合。</li> </ul>
内容	障害	AS2 伝送で署名アルゴリズム SHA2 を使用した場合、MDN の送信/受信でエラーとなる。
回避策	未実施時のアップデート	特になし。

No.8		資料採取画面「集約振分ログ」項目のログ名称が表示されない不具合を修正
条件	発生	資料採取画面を表示した場合。
内容	障害	採取対象ログ名称が表示されない（動作上問題なし）。
回避策	未実施時のアップデート	特になし。

No.9 SGM ファイル(文字コード：UTF-8)の業務転送履歴への取込不具合を修正	
発生条件	業務転送履歴へ取込ファイルが以下の条件全てを満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡張子が .sgm。</li> <li>・ 文字コードが UTF-8。</li> </ul>
内容 障害	業務転送履歴への取込エラーとなる。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

No.10 AS1,AS2 伝送で MIC アルゴリズムに SHA2 を使用した際、伝送エラーとなる不具合を修正	
条件 発生	通信定義にて MIC アルゴリズムに SHA2 (SHA256,SHA384,SHA512)を指定した場合。
内容 障害	AS1,AS2 伝送において MDN 受信エラーが発生する。
回避策 未実施時の アップデート	MIC アルゴリズムに SHA1 を指定する。

No.11 複数（中間／ルート）の証明書情報が含まれる証明書(PFX／P12 形式)のインポート不具合を修正	
条件 発生	複数（中間／ルート）の証明書情報が含まれる PFX／P12 形式の証明書ファイルをインポートした場合。
内容 障害	個人の証明書一覧に秘密鍵を持つ証明書情報が列挙されない。
回避策 未実施時の アップデート	単一の証明書に変更した上でインポートを行う。



No.12 特定 EDI 製品と AS1 伝送時において署名アルゴリズム SHA2 を使用した際、MDN 受信/送信エラーとなる不具合を修正	
発生条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ MDN 送信エラー：MDN の送信要求「Disposition-Notification-Options」に「SHA-256」が記載されている場合。</li> <li>・ MDN 受信エラー：MDN の「Received-Content-MIC」に「SHA-256」が記載されている場合。</li> </ul>
内容 障害	AS1 伝送で署名アルゴリズム SHA2 を使用した場合、MDN の送信/受信でエラーとなる。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

No.13 複数データを同時受信すると、一部の受信データを消失する可能性がある不具合を修正	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マルチセッション設定を行う。</li> <li>・ 複数のデータ受信を、同時に行う。</li> </ul>
内容 障害	受信データに対して、内部で ID を採番して管理するが、同時に採番処理が行われると、同一 ID を採番してしまいデータの消失が発生する。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

No.14 送信に失敗したデータが、転送履歴検索結果画面にて表示される不具合を修正	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送信に失敗する。</li> <li>・ 上記送信データの転送履歴取込を行う。</li> </ul>
内容 障害	送信エラーとなったデータに関する転送履歴情報が表示される。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

No.15 ICSR 症例転送履歴の詳細画面から添付ファイルをダウンロードできない不具合を修正	
条件 発生	添付ファイル付き ICSR ファイルを業務転送履歴に取り込んでいる場合。
内容 障害	ICSR 症例転送履歴 詳細画面から ICSR に含まれる添付ファイルがダウンロードできない。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

No.16 転送履歴の書き込みに失敗する場合がある不具合を修正	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のデータ送受信処理を同時に行う。</li> <li>・上記送受信フォルダを転送履歴取得対象に指定している。</li> </ul>
障害内容	履歴取込情報ファイルへの履歴書き込みに失敗する。 転送履歴は履歴取込情報ファイルを元にデータベースへの登録を行うため、履歴書き込みに失敗した伝送履歴情報がデータベースに登録されない。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

No.17 同一ドキュメントが二重抽出される場合がある不具合を修正	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の抽出処理を同時に行う。</li> <li>・上記処理中に抽出ファイルの取り出しを行う。</li> </ul>
内容 障害	同一ファイルが二重出力される。
回避策 未実施時の アップデート	コマンド実行の場合、呼び出しを「同期」に変更する。

<b>No.18 業務転送履歴取込において取込エラーのデータが存在する場合、一時ファイルによりディスクを圧迫する不具合を修正</b>	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICSR/ACK フォーマットに沿わないファイルを伝送する。</li> <li>・ 上記送受信データの転送履歴取込を行う。</li> <li>・ 転送履歴取込を定期的に行う。</li> </ul>
障害内容	業務転送履歴取込エラーが発生する。取込エラーとなった場合、取込に成功した ICSR/ACK ファイル含め次回取込実行時に再度取込処理が行われる。その際 取込済みの ICSR/ACK ファイルは一意制約エラーとなり、取込処理時の一時ファイルが残る。 取込処理毎に一時ファイルが累積するためディスクが圧迫される。
未実施時の回避策	取込エラーが発生した場合、作成された一時ファイルを手動削除する。

<b>No.19 受信フォルダに存在する複数件のステータス「処理済み（異常）」のファイルが一括で抽出できない不具合を修正</b>	
発生条件	ファイルステータスが「処理済み（正常）」以外のものが複数存在するフォルダに対して、全件抽出のコマンドを発行した場合。
障害内容	抽出対象ファイルが複数存在しても、最も古いファイルが1件だけ抽出されて処理が終了する。
未実施時の回避策	特になし。

<b>No.20 AS2 プロトコルの非同期伝送において、MDN 送信を行うと一時ファイルが削除されない不具合を修正</b>	
発生条件	AS2 プロトコルの非同期伝送において MDN 送信を行った場合。
障害内容	一時ファイルが残る。
未実施時の回避策	特に無し。

No.21		CSR 作成ツールにて、予期せぬエラーが発生する不具合を修正
条件	発生	識別情報に、「,(カンマ)」、「+(プラス)」、「" (ダブルクォーテーション)」のいずれかを入力した状態で保存を実施した場合。
内容	障害	「予期せぬエラーが発生しました。」とメッセージが表示され保存に失敗する。
回避策	アップデート 未実施時の	識別情報に、「,(カンマ)」、「+(プラス)」、「" (ダブルクォーテーション)」を使用しない。

No.22		データ受信中に受信処理を途中で抜けてしまう場合がある不具合を修正
条件	発生	受信処理中に、送信側が接続を終了し且つシャットダウンを行った場合。
内容	障害	送信側は全てのデータを送りきっているにも関わらず、受信側がデータの途中までしか受信できていない状態で伝送が終了する。
回避策	アップデート 未実施時の	特になし。

No.23		IMAP のアカウント追加画面にて、「PLAIN 認証に認可 ID を使用する」のチェックを外した場合、登録エラーとなる不具合を修正
条件	発生	IMAP のアカウント追加画面にて、「PLAIN 認証に認可 ID を使用する」のチェックを外した状態で登録ボタンを押下した場合。
内容	障害	「PLAIN 認証に認可 ID を使用する」のチェックを外した状態でアカウント登録が行えない。
回避策	アップデート 未実施時の	「PLAIN 認証に認可 ID を使用する」にチェックを付け「認可 ID」に適当な値を設定し登録を行う。登録完了後、アカウント編集画面を開き、「PLAIN 認証に認可 ID を使用する」のチェックを外し登録を行う。

<b>No.24</b>		<b>メールサーバに復号化できないメールが存在する場合、暗号化されていないメールも受信処理エラーとなる不具合を修正</b>
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・メールボックス内の DEX 受信対象メールの 1 通目が暗号化メールである。</li> <li>・メールボックス内の DEX 受信対象メールの 2 通目以降が非暗号化メールである。</li> <li>・DEX に復号化用の証明書が登録されていない。</li> </ul>	
内容 障害	AS1 受信エラーとなり、メールボックス内の DEX 受信対象メールの 2 通目以降が受信できない。	
回避策 未実施時の アップデート	メールボックス内の DEX 受信対象メールの 1 通目が暗号化メールに対応する復号化用証明書をインポートする。	

<b>No.25</b>		<b>「CNG Key Isolation」サービスが実行されていないと、電子証明書の秘密鍵の取得に失敗する不具合を修正</b>
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・「CNG Key Isolation」サービスが停止している。</li> <li>・電子署名の添付を行う設定を行っている。</li> </ul>	
内容 障害	データ送信時に、電子署名生成エラーが発生して送信に失敗する。	
回避策 未実施時の アップデート	「CNG Key Isolation」サービスの稼働状況を確認して、停止状態ならば開始状態にする。	

<b>No.26 集約振分機能で複数の振分処理が同時に行われた場合、振分エラーとなる不具合を修正</b>	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数の振分定義が存在する。</li> <li>・ 振分処理が同時に行われる。</li> </ul>
内容 障害	振分処理エラーとなり、振分先にファイルが移動されない。
回避策 未実施時の アップデート	振分処理が同時に行われないように制御する。

<b>No.27 転送履歴検索結果を CSV 出力した際に送信に失敗したデータが出力される不具合を修正。</b>	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送信に失敗する。</li> <li>・ 上記送信データの転送履歴取込を行う。</li> </ul>
内容 障害	送信エラーとなったデータに関する転送履歴情報が CSV に出力される。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

<b>No.28 転送履歴情報のデータベース登録に失敗する場合がある不具合を修正</b>	
条件 発生	データベース登録のために内部で生成する文字列が 1024 バイトを超えた場合。
障害内容	SQL 登録文字列生成処理において生成したい文字列が途中で切れてしまう。 そのため SQL 登録文字列が構文不正な状態で、転送履歴データの登録が実行され、転送履歴情報の登録に失敗する。 その結果、対象データに関する情報が転送履歴画面に表示されない。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

<b>No.29 ユーザーグループ設定で業務転送履歴のみ表示設定を行った場合、転送履歴メニューが表示されない不具合を修正</b>	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ファイル転送履歴」無効、「業務転送履歴」有効のユーザーグループが存在する。</li> <li>・上記ユーザーグループに設定されたユーザが存在する。</li> <li>・上記ユーザでメインメニューを表示する。</li> </ul>
内容 障害	「転送履歴検索」メニューが表示されない。 そのため業務転送履歴検索が行えない。
回避策 未実施時の アップデート	ユーザーグループ設定で「ファイル転送履歴」を有効にする。

<b>No.30 ICSR/ACK ファイル内にシングルコーテーションが含まれると業務転送履歴への取込エラーとなる不具合を修正</b>	
条件 発生	業務転送履歴取込の際、データベース登録する ICSR/ACK 項目内にシングルコーテーションが含まれる場合。
障害内容	SQL 登録にてシングルコーテーションが文字列の終端と判定されるため、一部の文字列が転送履歴情報に登録されない。 その結果、対象データに関する情報が転送履歴画面にて一部欠損した状態で表示される。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

<b>No.31 ICSR 症例転送履歴の PDF 出力で、「ACK 転送日時」欄に不正な内容が出力される不具合を修正</b>	
条件 発生	ICSR 症例転送履歴画面にて検索結果を PDF 出力した場合。
内容 障害	PDF 出力した転送履歴情報の「ACK 転送日時」に「ICSR に対する MDN 受信日時」が出力される。
回避策 未実施時の アップデート	特になし。

No.32 伝送結果が転送履歴に書き込まれない場合がある不具合を修正	
発生条件	<p>送信処理において以下条件どちらかを満たす場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイル送信完了後、伝送完了ステータス(「処理済み(正常)」、「処理済み(異常)」)から伝送可能ステータス(「登録済み」、「応答処理待ち」)に変更し、再度送信を行う。</li> <li>・ファイル送信の際、ステータス「応答処理待ち」の状態フォルダ移動を行ったのち、MDN受信を行う。</li> </ul>
内容 障害	<p>上記処理の際、内部管理している転送履歴監視ステータスが監視対象外となるため、転送履歴が記録されない。結果として転送履歴に一部履歴が書き込まれない。</p>
回避策 未実施時の アップデート	<p>特になし。</p>

No.33 「キー使用法」が設定されていない証明書をサーバ認証で使用すると SSL ハンドシェイクエラーとなる不具合を修正	
発生条件	<p>以下の条件をすべて満たす場合：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インポートした電子証明書内に、「キー使用法」項目の設定がない。</li> <li>・上記の証明書をサーバ認証で使用する証明書として設定する。</li> </ul>
内容 障害	<p>伝送にて SSL ハンドシェイクエラーとなり伝送に失敗する。</p>
回避策 未実施時の アップデート	<p>特になし。</p>



No.34 回線集約機能でローカルディレクトリへの振分で振分エラーとなる不具合を修正	
条件発生	振分定義にてローカルディレクトリを振分先と指定した場合。
内容障害	振分処理時、振分エラーとなり、指定ディレクトリにファイルが格納されない。
アップデート 未実施時の 回避策	振分定義にて DEX フォルダを振分先として指定する。振分先の DEX フォルダより抽出を実行し、ローカルディレクトリにファイルを格納する。